

第3章 環境保全対策の推進

第1節 環境審議会

環境審議会は、市の環境の保全に関する事項を調査審議するために設置される機関です。「市議会議員」、「工場又は事業場を代表する者」、「学識経験を有する者」、「住民を代表する者」のうちから市長が委嘱した委員で構成されています。

1 環境保全協定

(1) 締結状況

市は、市内の主要企業と「周南市環境保全協定」、「周南市環境保全協定に基づく細目協定」を締結しており、その締結状況は表3-1-1に示すとおりです。

表3-1-1 環境保全協定締結状況

(平成24年12月31日現在)

締結状況	企 業 名
周南市環境保全協定に基づく細目協定	出光興産(株)徳山製油所・徳山工場 岡崎ヒュッテナス・アルバータス化成(株) コバレントマテリアル徳山(株) コバレントシリコン(株)徳山工場 タマ化学工業(株)徳山工場 帝人(株)徳山事業所 (株)トクヤマ徳山製造所 (株)トクヤマシルテック (株)アストム サン・アロー化成(株) 新第一塩ビ(株) 徳山ポリプロ(株) (株)徳山オイルクリーンセンター 日本化学工業(株)徳山工場 日本精蠟(株)徳山工場 日本ゼオン(株)徳山工場 三井化学(株)徳山分工場 山口エコテック(株) 山口リキッドハイドロジェン(株)
周南市環境保全協定	岩谷瓦斯(株)中国事業所南陽工場 周南酸素(株) 昭和電工(株)徳山事業所 新南陽鉄工団地協同組合 (株)タダオ 東ソー(株)南陽事業所 東ソー・エスジーエム(株) 東ソー・シリカ(株) 東ソー有機化学(株)第一工場 東ソー・ファインケム(株) 東ソー・エフテック(株)南陽工場 徳山積水工業(株) 日新製鋼(株)周南製鋼所 日本ポリウレタン工業(株)南陽本部 保土谷化学工業(株)南陽工場 TDパワーマテリアル(株)
周南市環境保全協定	(株)イチキン (株)京灌 周南紙業(株) 周南ファインケミカル(株) (株)城永 信越ポリマー(株)南陽工場 (有)新南陽サンソ 新和企業(株)周南支店 南陽化成(株)

(2) 立入り調査

「周南市環境保全協定書に基づく細目協定書」では、大気、水質等について数値規制をしており、遵守状況については立入り調査を行うことによって確認しています。

① 工場煙道調査

ばいじん濃度及びダイオキシン類濃度について立入り調査を実施しました。平成 23 年度の調査結果は表 3-1-2 及び表 3-1-3 に示すとおりです。

協定値を超過した施設はなく、すべての施設で協定値は遵守されていました。

※平成 22 年度から「ばいじん濃度調査」と「窒素酸化物濃度調査」を隔年で行っています。

表 3-1-2 ばいじん濃度調査結果

地点名		測定値			協定値	
		補正濃度 ¹⁾ (g/m ³ N)	排出濃度 (g/m ³ N)	酸素濃度 (%)	排出濃度 (g/m ³ N)	基準酸素濃度 (%)
		<i>C</i>	<i>C_s</i>	<i>O_s</i>	<i>C</i>	<i>O_n</i>
東ソー(株)	セメント 6号焼成炉	0.020	0.018	11.1	0.040	10
(株)トクヤマ	ボイラー 5号	0.0075	0.0074	6.3	0.05	6
	セメント 3号焼成炉	0.013	0.016	7.5	0.04	10
日本精錬(株)	ボイラー 1号	0.014	0.014	4.4	0.25	4

注 1) 次式から求められる補正濃度をもって、排出基準への適否を判定する。

$$C = \frac{(21 - O_n)}{(21 - O_s)} \times C_s$$

C : 基準酸素濃度で補正をしたばいじんの量 (これを排出基準と比較する) (g/m³N)

O_n : ばい煙発生施設ごとに定める基準酸素濃度 (%)

O_s : 排出ガス中の酸素濃度 (20%を超える場合は 20%とする) (%)

C_s : JISZ8808 に定める方法により測定されたばいじんの量

表 3-1-3 ダイオキシン類濃度調査結果 (単位: ng-TEQ/m³N)

企業名	施設名	測定値	協定値
山口エコテック(株)	脱ダイオキシン炉	0.000068	≤0.01

② 工場排水調査

平成 23 年度は一般項目及び健康項目について立入り調査を実施し、その結果は表 3-1-4 に示すとおりです。

表 3-1-4 工場排水調査結果

調査項目		出光興産(株)										
		第3セパレーター			第4セパレーター		梅花川第一		梅花川第二			
		測定値		協定値	測定値		協定値	測定値		協定値	測定値	
		H23. 8. 29	H24. 2. 3		H23. 8. 29			H23. 8. 29			H23. 8. 29	
排水量	m ³ /日	357,600	296,800	≦412,340	132,500	≦310,760	172,700	≦186,900	99,100	≦258,100		
水温差	°C	+10.0	+11.5	≦+15	+7.0	≦+15	+8.5	≦+15	+13.0	≦+15		
pH	-	8.1	8.1	6.0~9.0	8.1	6.0~9.0	8.2	6.0~9.0	8.2	6.0~9.0		
COD	mg/l	1.9	2.1	≦6	1.6	≦6	2.1	≦5	1.5	≦5		
SS	mg/l	3	3	≦12	4	≦7	5	≦16	3	≦9		
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	≦1	<0.5	≦1	<0.5	≦1		
T-N	mg/l	0.29	0.39	≦1.5	0.24	≦1.5	0.22	≦1.5	0.27	≦1.5		
T-P	mg/l	0.011	0.028	≦0.45	0.015	≦0.45	0.010	≦0.45	0.009	≦0.45		
トリクロロエチレン	mg/l	<0.002	-	≦0.04	<0.002	≦0.04	-	-	-	-		
ベンゼン	mg/l	-	-	-	-	-	<0.001	≦0.02	<0.001	≦0.02		

※ 測定値欄の「-」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「-」は、協定値がないことを意味する。

調査項目 企業名 排水口名		株式会社トクヤマ								
		P2			D2			S6		
		測定値		協定値	測定値		協定値	測定値		協定値
		H23. 8. 29	2012. 2. 9		H23. 8. 29	2012. 2. 9		H23. 8. 29	2012. 2. 9	
排水量	m ³ /日	566,000	557,000	≦742,300	65,200	75,600	≦225,300	24,200	23,100	≦31,200
水温差	°C	+6.9	+7.5	≦+15	+5.0	+5.0	≦+15	+9.5	+11.5	≦+15
pH	—	8.0	8.0	6.0~9.0	7.8	7.9	6.0~9.0	8.1	8.1	6.0~9.0
COD	mg/l	2.5	1.8	≦6	2.9	2.5	≦8	1.5	1.6	≦5
SS	mg/l	6	4	≦12	5	3	≦15	6	2	≦12
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	0.5	≦1
T-N	mg/l	0.46	0.09	≦3.5	0.31	0.08	≦4.0	0.23	0.11	≦3.5
T-P	mg/l	0.014	0.028	≦0.30	0.024	0.028	≦0.45	0.017	0.022	≦0.45
1,2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0004	-	≦0.008	<0.0004	-	≦0.008	<0.0004	-	≦0.008
ふっ素及びその化合物	mg/l	1.0	-	≦1.8	1.1	-	≦1.8	0.7	-	≦1.8

調査項目 企業名 排水口名		株式会社トクヤマ							
		E3			C-12		協定値	C-14	
		測定値		協定値	測定値			測定値	協定値
		H23. 8. 29	H24. 2. 9		H23. 8. 29	H24. 2. 9	H23. 8. 29		
排水量	m ³ /日	514,000	519,000	≦636,000	1,960	2,120	≦7,200	2,220	≦3,360
水温差	°C	+4.9	+5.0	≦+15	+5.5	+1.0	≦+15	+4.5	≦+15
pH	—	8.0	8.1	6.0~9.0	7.4	7.2	6.0~9.0	7.3	6.0~9.0
COD	mg/l	1.9	2.3	≦9	1.5	1.9	≦9	1.5	≦4
SS	mg/l	4	6	≦9	2	1	≦10	<1	≦10
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	≦1
T-N	mg/l	0.78	0.14	≦4.6	0.96	0.37	≦4.0	0.69	≦4.0
T-P	mg/l	0.015	0.024	≦0.30	0.051	0.072	≦0.40	0.024	≦0.40
1,2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0004	-	≦0.008	<0.0004	-	≦0.008	<0.0004	≦0.008
ふっ素及びその化合物	mg/l	0.9	-	≦1.8	0.1	-	≦1.8	<0.1	≦1.8

※ 測定値欄の「-」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「-」は、協定値がないことを意味する。

調査項目		企業名 排水口名		コバレントマテリアル徳山(株)		タマ化学工業(株)		帝人(株)		
		総合		総合		総合				
		測定値	協定値	測定値	協定値	測定値		協定値		
		H23. 8. 30		H23. 8. 30		H23. 8. 30	H24. 2. 2			
排水量	m ³ /日	2,550	≦2,950	468	≦660	146,400	3,600	≦216,000		
水温差	℃	+3.5	≦+15	-3.5	≦+15	+1.5	-3.5	≦+15		
pH	-	7.0	6.0~9.0	7.2	6.0~9.0	8.2	7.4	6.0~9.0		
COD	mg/l	2.2	≦6	5.4	≦42	1.9	6.4	≦10		
SS	mg/l	17	≦70	3	≦15	4	<1	≦15		
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	≦1	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1.7		
T-N	mg/l	6.8	≦11.6	0.50	≦5.0	0.30	1.4	≦1.5		
T-P	mg/l	0.005	≦0.45	0.004	≦3.00	0.012	0.033	≦0.45		
ふっ素及びその化合物	mg/l	3.1	≦8.1	-	-	-	-	-		

調査項目		企業名 排水口名		(株)トクヤマシルテック		(株)徳山オイルクリーンセンター		日本化学工業(株)		
		排水口		総合		総合				
		測定値	協定値	測定値		協定値	測定値		協定値	
		H23. 8. 30		H23. 8. 30	H24. 2. 2		H23. 8. 30	H24. 2. 2		
排水量	m ³ /日	11.70	≦65	125	125	≦240	560	1,280	≦1,500	
水温差	℃	+4.0	≦+15	+10.5	+10.0	≦+15	-1.0	-0.5	≦+15	
pH	-	8.2	-	7.1	7.3	6.0~9.0	7.3	7.3	6.0~9.0	
COD	mg/l	1.7	≦9	3.8	4.3	≦15	1.2	1.6	≦9	
SS	mg/l	<1	≦20	<1	1	≦15	1	1	≦10	
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1.5	<0.5	<0.5	≦1	
T-N	mg/l	1.5	≦5.0	2.2	3.8	≦5.4	0.32	0.91	≦5.8	
T-P	mg/l	0.13	≦0.45	0.072	0.17	≦0.45	<0.003	0.035	≦0.49	
六価クロム化合物	mg/l	-	-	-	-	-	<0.04	-	≦0.06	
ふっ素及びその化合物	mg/l	-	-	-	-	-	<0.1	-	≦2.9	

※ 測定値欄の「-」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「-」は、協定値がないことを意味する。

企業名 排水口名 調査項目		日本精蠟(株)							
		打上総合			打上第2		庄の浦総合		
		測定値		協定値	測定値		測定値		協定値
		H23. 8. 30	H24. 3. 5		H23. 8. 30	協定値	H23. 8. 30	H24. 3. 5	
排水量	m ³ /日	25,785	22,515	≦32,265	1,288	≦3,300	16,790	26,651	≦30,720
水温差	℃	+1.0	+1.0	≦+15	+0.0	≦+15	+8.5	+6.5	≦+15
pH	—	7.9	8.0	6.0~9.0	8.1	6.0~9.0	7.9	8.2	6.0~9.0
COD	mg/l	2.6	1.3	≦6	1.8	≦5	2.3	1.4	≦5
SS	mg/l	3	2	≦10	3	≦10	7	5	≦10
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1.2	<0.5	≦1.7	<0.5	<0.5	≦1.1
T-N	mg/l	0.27	0.38	≦1.5	0.31	≦1.5	0.37	0.31	≦1.5
T-P	mg/l	0.014	0.018	≦0.45	0.010	≦0.45	0.038	0.016	≦0.45
ほう素及びその化合物	mg/l	3.7	-	≦8.4	3.5	≦8.4	2.6	-	≦8.4

企業名 排水口名 調査項目		日本ゼオン(株)			三井化学(株)			山口エコテック(株)		
		総合			総合			総合		
		測定値		協定値	測定値		協定値	測定値		協定値
		H23. 8. 30	H24. 2. 2		H23. 8. 30	H24. 2. 7		H23. 8. 26	H24. 2. 2	
排水量	m ³ /日	20,160	21,600	≦25,500	22,000	16,100	≦23,000	2,689	2,471	≦3,824
水温差	℃	+6.5	+9.0	≦+15	-2.0	+4.0	≦+15	-2.2	13.0	≦+15
pH	—	7.0	7.5	6.0~9.0	7.2	7.6	6.0~9.0	7.6	7.1	6.0~9.0
COD	mg/l	7.7	9.0	≦24	3.4	4.5	≦18	9.8	7.4	≦32
SS	mg/l	7	3	≦24	2	2	≦15	4	<1	≦20
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1.2	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1
T-N	mg/l	5.3	4.7	≦11.7	0.44	0.52	≦4.0	1.7	1.5	≦9.0
T-P	mg/l	0.090	0.14	≦0.45	<0.003	0.010	≦0.45	<0.003	0.006	≦3.60
ダイオキシン類	pg-TEQ/l	-	-	-	-	-	-	0.00011※	-	≦1
ほう素及びその化合物	mg/l	0.10	-	≦0.6	-	-	-	-	-	-

※H23.10.13測定

※ 測定値欄の「-」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「-」は、協定値がないことを意味する。

調査項目		東ソー(株)					
		東排水口			西排水口		
		測定値		協定値	測定値		協定値
		H23. 9. 7	H24. 3. 5		H23. 9. 7	H24. 3. 5	
排水量	m ³ /日	179,000	179,000	≦240,400	2,934,000	2,268,000	≦2,936,108
水温差	°C	+4.1	+4.8	≦+15	+5.0	+4.2	≦+15
pH	—	7.4	7.3	6.0~9.0	7.6	7.4	6.0~9.0
COD	mg/l	1.8	1.9	≦5	2.7	2.3	≦7
SS	mg/l	5	3	≦12	5	6	≦12
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1
T-N	mg/l	0.24	0.48	≦3.3	0.40	0.51	≦2.3
T-P	mg/l	0.062	0.032	≦0.40	0.058	0.066	≦0.30

調査項目		東ソーエスジーエム(株)			東ソー有機化学(株)			東ソーファインケム(株)	
		総合排水口			総合排水口			総合	
		測定値		協定値	測定値		協定値	測定値	協定値
		H23. 8. 29	H24. 3. 5		H23. 8. 29	H23. 3. 5		H23. 8. 29	
排水量	m ³ /日	297	128	≦330	190	213	≦900	1,080	≦2,400
水温差	°C	+7.1	+13.4	≦+15	-1.8	+0.4	≦+15	+2.0	≦+15
pH	—	7.0	6.8	6.0~9.0	7.2	8.0	6.0~9.0	7.7	6.0~9.0
COD	mg/l	2.7	0.7	≦7	5.8	2.6	≦29	1.2	≦3
SS	mg/l	4	3	≦14	8	<1	≦10	<1	≦10
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	≦1
T-N	mg/l	4.4	4.3	≦8.9	0.99	1.2	≦14.4	0.67	≦2.4
T-P	mg/l	<0.003	0.003	≦0.40	0.032	0.081	≦0.48	0.006	≦0.40
ふっ素及びその化合物	mg/l	<0.1	—	≦8.8	—	—	—	—	—

※ 測定値欄の「—」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「—」は、協定値がないことを意味する。

調査項目 企業名 排水口名		徳山積水工業(株)			日新製鋼(株)					
		総合			東排水口			西排水口		
		測定値		協定値	測定値		協定値	測定値		協定値
		H23. 8. 29	H24. 2. 8		H23. 8. 29	H24. 2. 8		H23. 8. 29	H24. 2. 8	
排水量	m ³ /日	6,619	4,650	≦8,450	26,920	20,816	≦31,120	25,833	30,046	≦32,280
水温差	℃	-4.4	+2.0	≦+15	+0.1	+8.0	≦+15	+3.6	+8.0	≦+15
pH	-	7.4	7.5	6.0~9.0	7.7	7.5	6.0~9.0	7.6	6.5	6.0~9.0
COD	mg/l	2.3	3.7	≦14	1.3	1.4	≦11	5.7	5.3	≦19
SS	mg/l	6	6	≦12	2	6	≦19	3	5	≦28
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦2.1	<0.5	<0.5	≦2.1
T-N	mg/l	1.0	1.8	≦4.8	14	0.94	≦59.0	24	30	≦73.5
T-P	mg/l	0.023	0.11	≦0.40	0.022	0.048	≦0.40	0.11	0.061	≦0.57
ふっ素及びその化合物	mg/l	-	-	-	1.6	-	≦15	2.8	-	≦15

調査項目 企業名 排水口名		昭和電工(株)		
		総合排水口		
		測定値		協定値
H23. 8. 29	H24. 3. 5			
排水量	m ³ /日	17,280	10,368	≦44,020
水温差	℃	-7.0	+0.7	≦+15
pH	-	7.3	7.4	6.0~9.0
COD	mg/l	3.6	2.1	≦28
SS	mg/l	3	3	≦10
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1
T-N	mg/l	0.43	0.62	≦3.8
T-P	mg/l	0.016	0.028	≦0.48
六価クロム化合物	mg/l	<0.04	-	≦0.06
ベンゼン	mg/l	<0.001	-	≦0.02
ジクロロメタン	mg/l	<0.02	-	≦0.05

※ 測定値欄の「-」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「-」は、協定値がないことを意味する。

調査項目		日本ポリウレタン工業(株)							
		南排水口			北排水口			第二製造所	
		測定値		協定値	測定値		協定値	測定値	協定値
		H23. 8. 29	H24. 2. 8		H23. 8. 29	H24. 2. 8		H23. 8. 29	
排水量	m ³ /日	8,304	13,080	≦22,500	45,600	38,064	≦54,300	1,824	≦3,996
水温差	℃	+1.1	+7.0	≦+15	+1.1	+4.9	≦+15	33.5(排水温度)	40(排水温度)
pH	—	7.3	7.9	6.0~9.0	7.8	7.5	6.0~9.0	6.9	6.0~9.0
COD	mg/l	5.5	2.2	≦14	2.8	2.9	≦10	1.7	≦14
SS	mg/l	5	3	≦11	5	5	≦11	3	≦32
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	<0.5	≦1	<0.5	≦2.0
T-N	mg/l	8.4	0.49	≦10.5	0.49	3.4	≦6.4	4.7	≦42.0
T-P	mg/l	0.19	0.049	≦0.41	0.020	0.14	≦0.40	0.14	≦1.05

調査項目		保土谷化学工業(株)		
		総合		
		測定値		協定値
H23. 8. 29	H24. 2. 8			
排水量	m ³ /日	9,593	9,813	≦15,000
水温差	℃	-0.6	+0.4	≦+15
pH	—	7.5	7.5	6.0~9.0
COD	mg/l	3.2	2.7	≦5
SS	mg/l	5	5	≦10
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	≦1
T-N	mg/l	0.63	0.86	≦2.1
T-P	mg/l	0.088	0.11	≦0.40
ジクロロメタン	mg/l	<0.02	-	≦0.03

※ 測定値欄の「—」は、測定していないことを意味する。

※ 協定値欄の「—」は、協定値がないことを意味する。

③ 工場騒音・振動調査

平成 23 年度に工場騒音・振動について立入り調査を実施した結果は、表 3-1-5 に示すとおりです。

平成 23 年度は、騒音・振動ともに協定値超過はありませんでした。

表 3-1-5 工場騒音・振動調査結果

企業名	測定地点	騒音 dB				振動 dB						
		昼間		夜間		昼間		夜間				
		測定値	協定値	測定値	協定値	測定値	協定値	測定値	協定値			
出光興産(株)	I-1	55	65	52	60	29	60	29	55			
	I-2	56		56		26		26				
	I-3	56		56		36		36				
	I-4	60		54		41		36				
	I-5	56		55		32		32				
	I-6	57		56		37		36				
	I-7	55		50		31		28				
岡崎ヒュッテナス・アルバータス化成(株)	OH-1	44	65	—	60	32	60	—	55			
コバレントマテリアル徳山(株)	CT-1	54	65	53	60	28	60	26	55			
	CT-2	49		49		26		24				
	CT-3	54		55		37		35				
タマ化学工業(株)	TC-1	68	70	67	70	34	65	34	60			
	TC-2	63		63		32		33				
	TC-3	58		57		32		30				
帝人(株)	TJ-1	54	65	53	60	31	60	25	55			
	TJ-2	52		50		30		30				
	TJ-3	56		56		28		26				
(株)トクヤマ	T-1	58	65	53	60	39	60	41	55			
	T-2	52		52		24		22				
	T-3	50		52		39		35				
	T-4	44		45		27		20				
	T-5	58		55		38		36				
	T-6	52		52		33		29				
	T-7	59		54		38		38				
	T-8	55		54		65		44		65	42	60
	T-9	52		50		60		28		60	22	55
	SA-1	59		59				41			35	
	SA-2	58		57				37			42	
(株)トクヤマシルテック	TST-1	56	70	55	65	26	65	25	60			
	TST-2	56		55		35		36				
(株)徳山オイルクリーンセンター	TOC-1	56	70	58	65	33	65	30	60			
	TOC-2	59		60		43		37				
	TOC-3	54		54		35		37				
日本化学工業(株)	NC-1	62	70	63	65	32	65	32	60			
	NC-2	62		59		34		32				
	NC-3	57		54		25		21				
日本精蠟(株)	NSR-1	53	60	53	55	34	55	35	50			

企業名	測定地点	騒音 dB				振動 dB			
		昼間		夜間		昼間		夜間	
		測定値	協定値	測定値	協定値	測定値	協定値	測定値	協定値
日本ゼオン(株)	Z-1	48	65	50	60	33	60	31	55
	Z-2	49		51		35		30	
	Z-3	52		51		36		35	
	Z-4	51		47		36		37	
	Z-5	53		52		32		31	
三井化学(株)	MC-1	49	65	49	60	29	60	20	55
	MC-2	48		49		32		27	
	MC-3	53	70	53	65	協定値なし			
山口エコテック(株)	YE-1	57	65	56	60	33	60	32	55

企業名	測定地点	騒音 dB				振動 dB			
		昼間		夜間		昼間		夜間	
		測定値	協定値	測定値	協定値	測定値	協定値	測定値	協定値
岩谷瓦斯(株)	IG-1	56	70	53	65	33	65	31	60
周南酸素(株)	SO-1	51	65	48	60	34	60	33	55
	SO-2	55		53		30		31	
昭和電工(株)	SD-1	54	70	54	65	37	65	34	60
	SD-2	56		58		32		34	
新南陽鉄工団地協同組合	TD-1	58	60	44	55	26	60	<20	55
	TD-2	46		41		23		20	
	TD-3	51		39		23		<20	
株タダオ	TDO-1	54	60	39	55	57	60	<20	55
東ソー(株)	TO-1	52	65	41	55	28	60	23	55
	TO-2	52		51		32		27	
	TO-3	50		46		36		28	
	TO-4	63	70	63	70	48	65	32	60
東ソー・シリカ(株)	TOS-1	65	70	66	70	54	65	49	60
	TOS-2	53		52	65	35		29	
東ソー有機化学(株)	TOC-1	57	70	55	70	35	65	30	60
徳山積水工業(株)	TS-1	63	70	65	70	34	65	31	60
	TS-2	54		61		32		29	
	TS-3	57		55	65	35		27	
日新製鋼(株)	NS-1	54	65	53	55	28	60	30	55
	NS-2	42		39		31		28	
	NS-3	55		39		26		21	
日本ポリウレタン工業(株)	NP-1	50	65	51	55	30	60	22	55
	NP-2	44		51		25		21	
	NP-3	53		51		37		36	
	NP-4	57	70	54	65	28	65	24	60
保土谷化学工業(株)	HC-1	48	65	48	55	26	60	<20	55
	HC-2	49		48		26		<20	
	HC-3	51	70	49	65	27	65	20	60
TDパワーマテリアル(株)	TDP-1	50	65	50	55	30	60	27	55
	TDP-2	58		53		48		48	

第2節 公害苦情

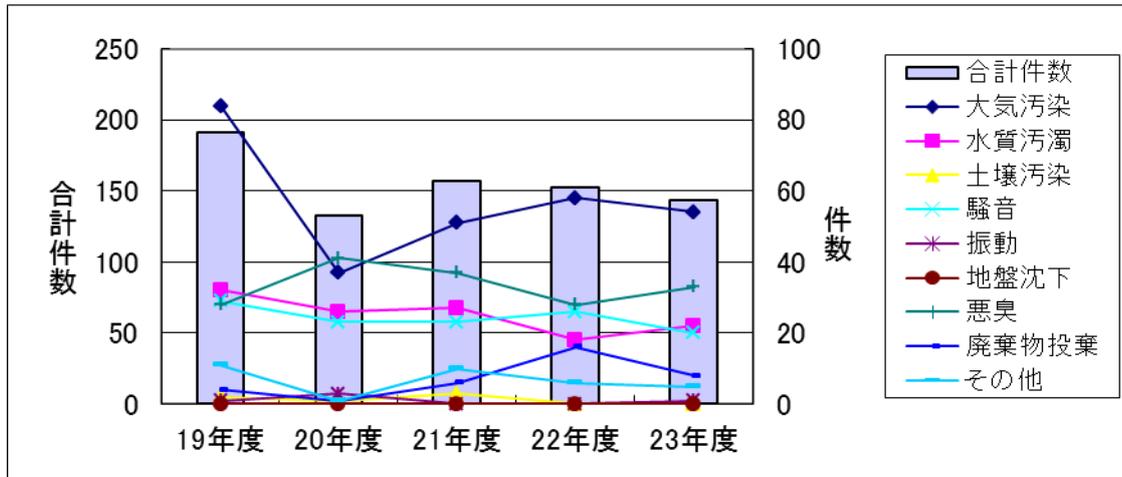
平成23年度に市が新規に受付けた苦情件数は143件で表3-2-1のとおり、過去5年間の経年変化は、図3-2-1に示すとおりです。苦情の種類においては、大気汚染に関する苦情が54件と一番多く、以下、悪臭、水質汚濁、騒音の順でした。

また、被害地域は住居地域が59件と一番多くなっています。

表3-2-1 用途地域別の苦情受付件数

被害地域の区分	苦情の種類									合計
	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	廃棄物投棄汚染	その他	
住居地域	23	7	0	9	0	0	16	2	2	59
近隣商業地域	5	0	0	2	0	0	2	0	0	9
商業地域	2	0	0	3	1	0	3	0	0	9
準工業地域	7	5	0	5	0	0	7	0	1	25
工業地域	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
工業専用地域	2	2	0	0	0	0	2	0	0	6
その他の地域	15	7	0	1	0	0	3	6	2	34
合計	54	22	0	20	1	0	33	8	5	143

図3-2-1 苦情受付件数の推移



第3節 生活排水浄化対策の推進

浄化槽には、し尿を含む生活雑排水を処理する合併処理浄化槽と、し尿のみを処理する単独処理浄化槽があり、浄化槽の処理能力の比較は図3-3-1に示すとおりです。

平成13年4月に浄化槽法が改正され、浄化槽は原則として合併処理浄化槽の設置が義務づけられ、現在は単独処理浄化槽の新設はできません。

周南市は、下水道、農業集落排水、漁業集落排水の整備により、生活雑排水の処理が進んでいますが、これら下水道の認可区域以外の区域においても、生活雑排水の処理をするためには浄化槽を設置することが求められています。

市では、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図る目的で、下水道等の認可区域以外の区域を対象に浄化槽の設置者に対する補助制度を設けています。

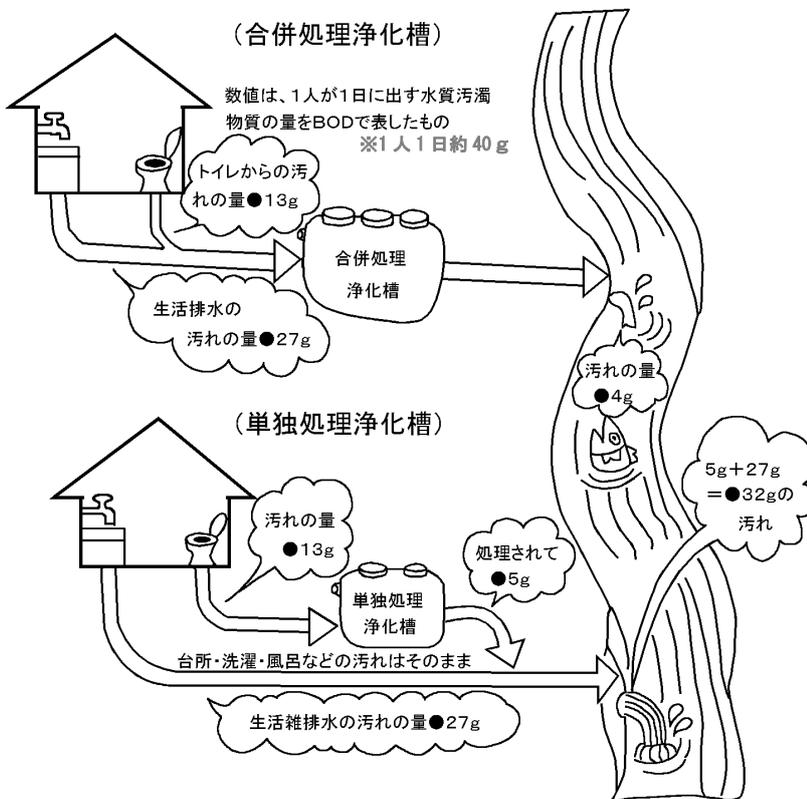
補助状況は表3-3-1に示すとおりです。

平成22年度から、従来の補助金に市単独で上乗せをすることにより、補助件数が前年度と比較して約5倍と大幅な増加となっています。

表3-3-1 浄化槽設置費補助件数

周南市全域	5人槽	7人槽	10人槽	合計
平成19年度	10基	39基	6基	55基
平成20年度	14基	25基	2基	41基
平成21年度	16基	18基	2基	36基
平成22年度	81基	106基	8基	195基
平成23年度	102基	85基	2基	189基

図3-3-1 合併処理浄化槽と単独処理浄化槽の処理能力の比較

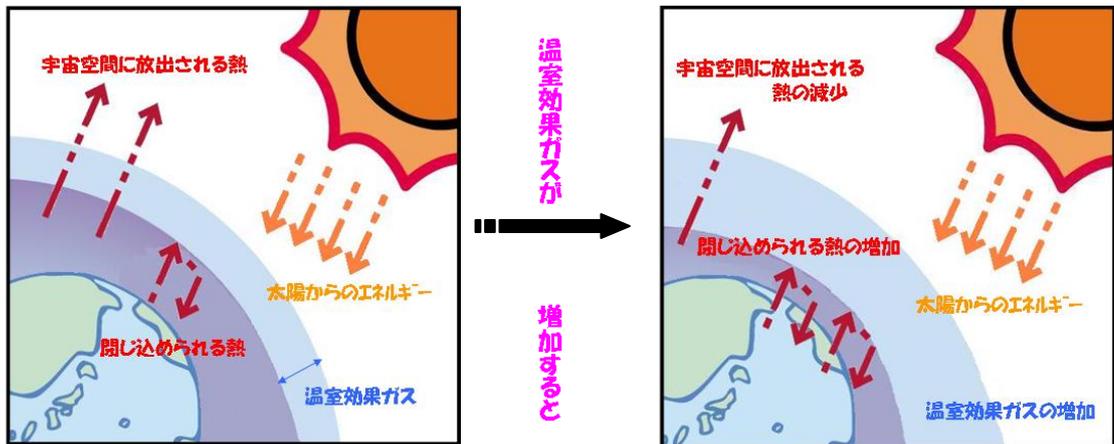


第4節 地球環境問題

地球は、太陽から届く熱量と宇宙空間への放出する熱量のバランスにより保たれています。近年そのバランスが崩れて、地球温暖化の実態が明らかとなってきました。地球温暖化現象は、温室効果のある二酸化炭素濃度の高まりが原因とされています。

豊かさや便利さを追求してきた私たちのライフスタイルや社会経済システムが、石炭・石油等の化石燃料の大量消費をもたらし、二酸化炭素排出量を増大させ、取り返しのつかない悪影響を地球環境に与えています。

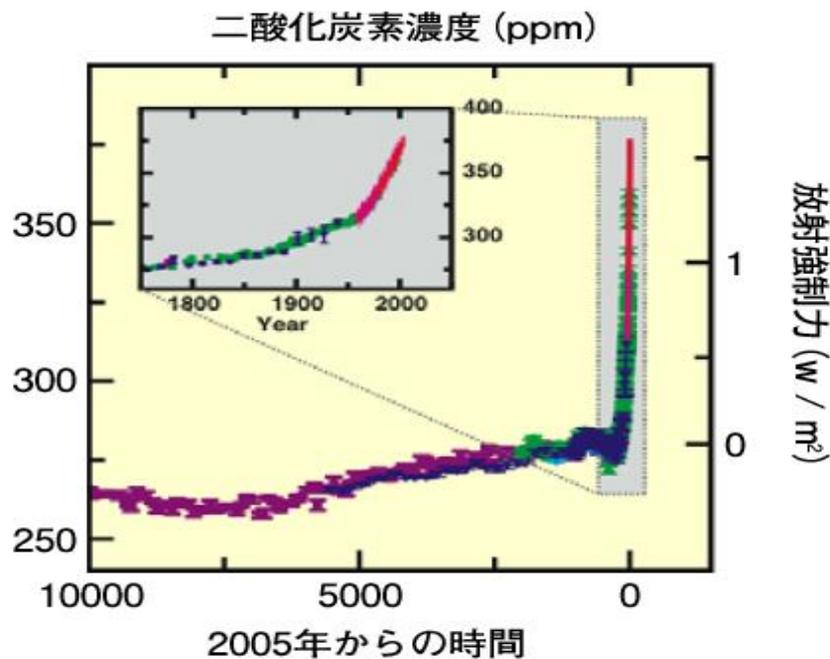
図 3-4-1 温室効果による地球温暖化のメカニズム



※太陽光が大気を通過し地表面を暖めると、地表面から上空に対して赤外線が放射されます。その赤外線が地球を取り巻く大気に含まれる温室効果ガスによって吸収され、再び地表へ放射されて地表を加熱し、地球の温度が上昇します。

大気中の温室効果ガス濃度は、産業革命以降の化石燃料消費量の拡大とともに上昇し続けており、今後さらに上昇すると予測されています。

図 3-4-2 二酸化炭素濃度の変化（過去 10,000 年）



出典) IPCC第4次評価報告書2007

※IPCCの第4次評価報告書(2007)によると、2100年の気温は1990年と比べ温室効果ガスの排出量が最も少なく抑えられた場合でも平均1.8度(予測の幅は1.1~2.9度)の上昇、最も多い場合は4.0度(予測の幅は2.4~6.4度)の上昇と予測されています。

1997年(平成9年)12月に京都で開催された気候変動枠組条約第三回締結国会議(COP3)では、先進国の二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの削減目標を規定した京都議定書が採択されました。2005年(平成17年)2月には京都議定書が発効され、日本は2008年(平成20年)から2012年(平成24年)までの間に、1990年の温室効果ガス排出量を基準に6%削減することを約束しました。

1999年(平成11年)4月には「地球温暖化対策の推進に関する法律」が施行され、国、地方公共団体、事業者、国民それぞれの責務や取り決めなどが定められました。

これにより、地方自治体も自らの事務・事業に関して温室効果ガス排出量抑制等のための実行計画を策定・公表することとなり、本市では、「周南市役所エコ・オフィス実践プラン」を策定し、地球温暖化の防止に取り組んでいます。

2012年(平成24年)度、環境省で取りまとめた2011年度温室効果ガス排出量(速報値)では、東日本大震災の影響等により基準年(1990年)と比較して3.6%増加しています。

国では、福島第一原発事故を踏まえ、エネルギー政策と地球温暖化対策の見直しが行われており、将来の温室効果ガス排出量の削減目標や再生可能エネルギーの導入目標等について、検討が進められています。

1 市内の温室効果ガス(二酸化炭素)の排出状況

2009年(平成21年)度における周南市の温室効果ガス排出量(エネルギー起原)推計は1,452万t-CO₂であり、前年度比で18%削減、3年前の2006年(平成18年)度比では21%削減しています。これは図3-4-3で示すとおり、産業部門の削減が大きな要因です。本市は日本屈指のコンビニエナート群を擁しており、CO₂排出量は市全体の約94%を占めています。

産業部門は景気等の変動に大きく影響を受けますが、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき、各事業所における省エネ対策も進められています。

図3-4-3 山口県・周南市における部門別CO₂排出量の推計(エネルギー起源)

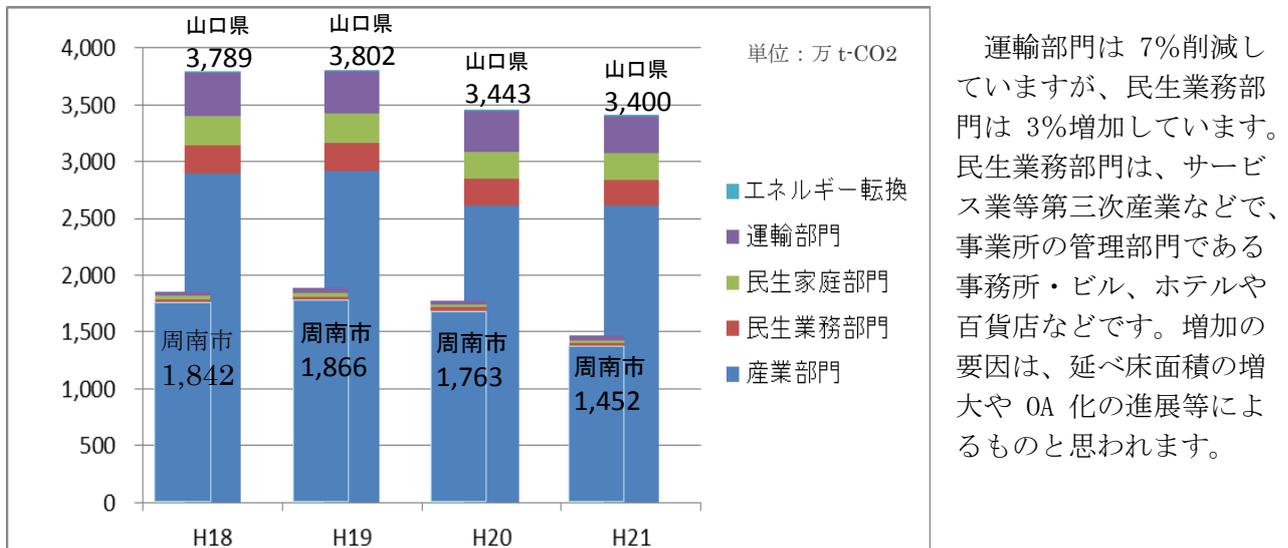
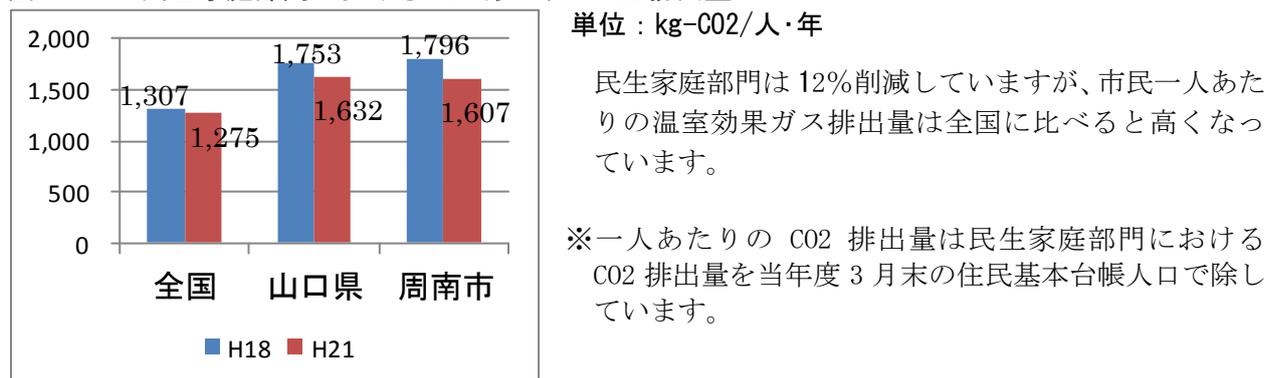


図3-4-4 民生家庭部門における一人あたりのCO₂排出量



2 周南市役所エコ・オフィス実践プラン

市役所では、地球温暖化防止対策として、下表のとおり6つの削減目標を掲げ、環境への負荷低減に努めています。

平成23年度の温室効果ガスの排出量は33,745t-CO₂でした。基準年（平成20年度）比では2.2%の削減となっていますが、前年度に比べ0.8%増加しています。これはリサイクルプラザや学校給食センターなどの新設が大きな要因となっています。

コピー用紙・封筒使用量は基準年に比べ8.5%増、前年度と比べても7.7%増加しています。各職場では両面コピーや裏紙使用などコピー用紙の減量化に努めていることから、業務量の増加も原因の一つと考えられます。

上水使用量は基準年に比べ2.0%増、前年度比では2.9%減少しています。

用紙のグリーン購入率は基準年に比べ低下していますが、前年度よりも上昇しています。

トイレットペーパーのグリーン購入率は90%代ですが基準年よりも悪化してきています。

平成26年度の目標達成に向け、設備更新時の省エネ機器の導入及び職員一人ひとりの意識啓発をさらに推進していく必要があります。

表3-4-1 周南市役所エコ・オフィス実践プラン取組み状況

項目		基準年度	実績年度（実績値、基準年比）						目標年度	
		H20	H21		H22		H23		H26	
1	温室効果ガス排出量 [t-CO ₂]	34,507	32,336	6.3%減	33,474	3.0%減	33,745	2.2%減	31,056	10%削減
2	コピー用紙・封筒使用量 [kg]	82,965	82,518	0.5%減	83,609	0.8%増	90,042	8.5%増	80,476	3%削減
3	上水使用量 [m ³]	662,895	674,957	1.8%増	696,109	5.0%増	676,166	2.0%増	643,008	3%削減
4	一次エネルギー消費量 [GJ]	576,517	583,884	1.3%増	608,492	5.5%増	619,171	7.4%増	518,866	10%削減
5	グリーン購入 (用紙)	58.4%	47.3%	あと 52.7%	47.4%	あと 52.6%	49.6%	あと 50.4%	100%	100%
6	グリーン購入 (トイレットペーパー)	97.4%	96.4%	あと 3.6%	94.7%	あと 5.3%	91.9%	あと 8.1%	100%	100%